

「Codex 国際食品規格:食品衛生の一般原則」2020 年改訂版の訳書発行のご案内

食品の国際規格を出している国際連合の食糧農業機関(FAO)、および世界保健機構(WHO)により、「Codex 国際食品規格:食品衛生の一般原則」が 2020 年に改訂がされました。オリンピックを機に日本の食品安全も世界と同じレベルでの管理が要求されるようになってきました。また、日本ではそのために HACCP をフードチェーン全体で導入されるようになりました。HACCP がうまく適用できるためには、その前提である一般衛生管理がしっかりとしていなくてはなりません。今回の改訂は、前記のような国際的動向を踏まえたもので、全体として表現が詳細・具体的化され、特に中小企業の実態を踏まえた柔軟な管理方法が記されるとともに、食品安全のマネジメントコミットメント等が追加されるなど、より現場的な方法が記されています。この改訂版は、食品流通でのどの段階でも使えるものになっております。ぜひ、事業所の衛生管理の座右として、この改訂版をご利用されるようお勧めいたします。

<p>翻 訳:「Codex 国際食品規格:食品衛生の一般原則」2020 年改訂版(2021.6.15 初版発行) 原 著 : Codex Alimentarius International Food Standards : General Principles of Food Hygiene CXC 1-1969 Revised. 2020, FAO/WHO 監 訳: 吉田隆夫(アメリカ食品産業研究会 会長・理学博士) 翻 訳: 日佐和夫(大阪府立大学 客員教授・農学博士) 発 行: e-食安全研究会、クリエイティブ食品開発技術者協会</p>

推薦のことは: 池戸重信 宮城大学名誉教授(元農林水産消費技術センター理事長)

「この度、食品企業の現場実態に精通され、これまでも積極的に実効ある管理指導に努められ、国際的に食品企業の現場実態に精通され、また HACCP に関しても我が国での導入以前から先駆的に同システムを研究されるとともに、積極的に実効ある管理指導に努められて来られた、アメリカ在住でアメリカ食品産業研究会の会長等を務めておられる吉田隆夫氏と、元・国立大学法人東京海洋大学大学院食品流通安全管理専攻の教授を務めておられた日佐和夫氏のお二人が連携して、いち早く当該「原則」を和訳されたことに敬意を表する次第です。

この「原則」に基づいて具体的で有効な衛生管理を実践し、その成果が得られることが重要です。そのためには、行政機関と事業者間や中央組織と地域組織間といったヨコの連携とともに、フードチェーン間のタテの連携も含め、関係者のより一層の協力体制が求められます。今回の和訳が、それに応える一助になることを大いに期待しています。」

(訳書のために頂いた推薦の言葉、『「原則」から「実践」そして「成果」への円滑な移行に期待』の一部を抜粋しました。)

発行: e-食安全研究会、(一社)クリエイティブ食品開発技術者協会
〒540-0027 大阪市中央区鑪屋町 2-2-10 三洋谷町ビル 3 階 301
(お申込みはメールで申込書の添付をお願いいたします。)

申込書

e-食安全研究会 宛

令和 年 月 日

翻訳：「Codex国際食品規格：食品衛生の一般原則」2020年改訂版

冊数： _____ 冊

費用： _____ 冊 X 1,500円 = _____ 円

(非売品ですが、印刷費、送料、事務経費として1冊 1,500円でお願
いしております。)(消費税はかかりません。)

申込者：

送付先：

勤務先： _____ (個人の場合は無記名でも可)

郵便番号： _____

住所： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____

領収書宛名： _____ (部署名など特定の宛名が
必要な場合にご記入下さい。)

振込先銀行口座： 三井住友銀行 (0009) 立売堀支店 (123) 普通預金

口座番号 1232131 口座名 イノケンゼンカン1ウイ

振り込み日： 令和 年 月 日

(*以下事務局用)

振込確認(事務局)* 令和 年 月 日

発送日(事務局)* 令和 年 月 日

領収書封入及び宛先確認

ご注文方法：上記申込書に必要事項を書き込み、事務局のメールアドレスにメールに添付してお申込みをして
ください。なお、お申込みと同時に、銀行口座に必要な金額のお振込みをお願い致します。(振込手数料はご
負担をお願いいたします。)お振込みが確認できると、発送させていただきます。なお、監訳者、翻訳者のほう
にご連絡頂いても結構です。

どちらに送られるかをチェックをお願いいたします。

事務局： cftassoc@gmail.com (川口宛)

吉田隆夫宛： takaoyoshi@gmail.com

日佐和夫宛： kazuo.hisa@gmail.com

(いずれのアドレスでコンタクトされても、
訳書はすべて事務局から発送いたします。)